

これまでの「子ども・教育部会」における主な意見

(平成26年第1回～平成27年第2回)

<学校・教育>

- ・小学校と地域とは連携が取れており教員も協力的であるが、中学校との連携はまだ十分に進んでいるとは言えない。
- ・中学生が職場体験で地域に入り一体感が生まれることは、地域にとってありがたい。こうした契機から、中学校と地域との関係作りを進めたい。
- ・アスリートが学校へ来てスポーツを教えるという市の事業がある。アスリートが来れば子どもたちが正しい知識や方法を知り、スポーツに関心を持つようになる。各小中学校を回ってもらえるようになればいいと思う。

<子育て>

- ・はぐくみネットコーディネーターに関して、PTAや地域と連携が取れていないところとはサポートが必要である。
- ・保育所と併設により保育ママをしているようなところは安心して預けられる。個人型の保育ママについては研修等をより充実してもらい、幅広く利用ができる方向にして欲しい。
- ・子育てというものは、学校や施設に押し付けるというものではなく、家庭における基本的な教育が子どもを教育する上で一番大事であると思う。
- ・子どもが遊べる体育館のような施設を作るのは難しい。公園では野球やサッカーはだめなどいろいろと規制があり遊べない。時間で管理するなど、子どもたちが安心して遊べる広場を作って欲しい。